

療養されている方の『ことば』から・・・

- ✿ 私は『どうありたいか』をいつも頭の中の、もうひとりの自分に聴いています。『ありたい姿』を相談しています。
- ✿ 自分の想いを『話せない』、『伝えられない』まま、長い間支援を受けていると、『自分が何をしたいか』本当の自分の気持ちが分からなくなってしまうのです。
- ✿ 基本は、療養されている方ご本人が、『どうありたいか』です。だから、聴いてくださることが、考えるきっかけになると思います。



おわりに

『想いのマップ』は、医療・看護・介護等の立場の異なる支援関係者が一堂に会し、これまでの日々の支援の中で、学び大切にしていること、工夫していることなど、多職種によるグループワークにより、自由に出し合い、「療養者の立場に立って」よりよい支援につなげる糸口を探すため、何度も検討を繰り返しました。

この冊子は、そうした多職種の熱い思いをまとめ、療養者自身の想いを語っていただき『主体的に、最期まで私らしく生きる』ために、その想いに寄り添うための支援のポイントをまとめました。

療養される方を支援する関係者たちの手に取られ、読み込まれ、一人ひとりの支援にいかしていただくとともに、療養者自身の想いが引き出され、生きる目標をもって主体的なケアを受けたい気持ちにつながって欲しいと願っています。